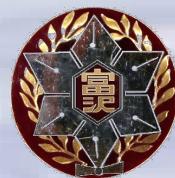


特認校 富沢小と家庭・地域をつなぐ学校だより



みらい

旭川市立富沢小学校 No. 12 平成27年12月4日発行

学校教育目標

夢をもち未来を拓く子ども

【目指す児童の姿】

かしこい子 (知)
あかいい子 (徳)
ねばりづよい子 (徳)
たくましい子 (体)

【実践の合い言葉】

きたえ ふれあう 富沢っ子



聾学校との交流

ともに価値ある活動となるように…!



30年以上の歴史ある取組、聾学校との交流学習を行いました。今年は本校が迎える側でした。今年も各学級で手話による自己紹介が行われたことは大きな成果です。開会のときの児童会長（松本小幸さん）の手話による挨拶は見事でした。とても感動しました。

明るく素直な聾学校の子どもたち…。しかし、この先、「自分の思いが伝わらない。」「わかってもらえない。」そんなジレンマを何度も味わいながら生きていかなければならないのかもしれない。

特別支援学校の子どもたちには、今回のような健常児との交流学習を通じて、思いや考えを伝え合う訓練が不可欠です。反対に、通常学級の児童には、ハンデをもった人たちの意思疎通を図るための手段として手話・点字などを学習させることが将来的にもとても必要なことではないかと思えます。

ある学年の交流学習では、学習のねらい通りの『互いの意図・感情を理解し合おうとする姿』を見ることができました。手話の文字表を見ながら、必死に聾学校の子どもに伝えようとする富沢の子ども。理解はしてもらえなくても、必死に手話で富沢の子どもに伝えようとする聾学校の子ども…。双方の姿にとっても感銘を受けました。これからも是非続けたい活動の一つです。



お見事！児童会長の手話



手話での自己紹介



手話で伝え合う



熱戦のドッジボール

全国学力・学習状況調査 本校の結果概要について

H27全国学力・学習状況調査結果について、文部科学省・道教委・旭川市とそれぞれの立場から結果が公表されました。本校では4月中旬に自己採点結果をもとに6年生個々の児童への面談指導を行い、参観日には6年生保護者へ「本校の結果概要と指導の改善策」をもとに結果公表と説明を行いました。概要の一部ですが、紙面をもって公表いたします。

本校の学力調査 結果概要

科目	結果概要（抜粋）	おもな改善策
国語A	○話す・聞く・読む能力は非常に高い。 △言語に対する知識や理解では個人差が大きい。	・既習漢字の予習復習・ドリルの徹底。 ・コラム的な文章を読み、書き方の工夫を学ぶ。
国語B	○読む能力が高く、短文式問題での正答率が高い。 △条件に合わせて書く問題が苦手である。	・事実・意見・感想などを区別して書く学習。 ・決められた条件に合わせて書く訓練が必要
算数A	○「量と測定」「数量関係」の正答率が高い。 △小数・分数の計算の正確さにやや欠ける。	・小数・分数の計算の復習を家庭学習でも取り組ませる。
算数B	△わけを説明する「記述式問題」の正答率が低い。 △「図形」や「数学的な思考」に課題が見られる。	・算数的事象に関する「わけ」を用語を使い、適切に説明させる授業の展開。
理科	○「エネルギー」「生命」に関する正答率が高い。 △観察実験の技能にやや課題が見られた。	・観察・実験を重視し、結果から分かることを適切な言葉・概念を使い説明させる学習。



学力

学習習慣
(生活習慣)

人材を活用して、より効果的な指導を

栄養教諭による食育指導（低学年）

食育指導に関しましては、担任や養護教諭により学級指導や給食指導の中で行っています。

今回は、毎月1回定期的に本校に来られる東栄小学校勤務の栄養教諭に、低学年向けの食育指導を行っていただきました。

『朝ごはんはどうして大切な？』というテーマで、豊富な手作り教材を活用し、丁寧に指導していただきました。

朝食の効果として、体の成長だけでなく、体温上昇、脳の活性化などとの関係をわかりやすく説明していただきました。

本校でも、「朝食抜き」で登校してきて、体調不良を訴える児童を時折見かけます。



朝食の摂取が、学力・体力向上とも相関が高いことは明白な事実です。

ご家庭でも、朝食を大切に考え、適切な指導をよろしくお願いいたします。

学校薬剤師による薬物乱用防止教室（高学年）

本校の学校薬剤師による「薬物乱用防止教室」が行われました。麻薬や大麻その他違法薬物の危険性や心身への影響などを説明するプレゼンテーションやDVDに子どもたちは真剣な表情で見入っていました。どの子も、「もし自分だったら…」と考えながら視聴していたのではないかと思います。

授業の終わりに、旭川市内の中・高校生でも薬物乱用の事件があり、自分たちにとって、身近な問題であることを知らせた後、「もし、みんなが中・高校生になって、仲のよい友達に薬物に誘われたらどうする？断れる？」の質問に対して、まさかの答えが。「断れないかもしれない。」という声が圧倒的でした。普段から友達を大切にする富沢っ子。しかし、その優しさが裏目に出る可能性も高いことに危機感を感じました。

学校でさらに指導の徹底を図って参りますが、ご家庭でも話題にしていいただければと思います。



児童・保護者・地域みんな集まり『ふれあいお楽しみ会』

毎年、楽しみにしている人が多い人気のこの行事。105名の方が集まりました。早朝よりたくさんの保護者の皆様のご協力、ありがとうございました。今年も学年発表からスタートしました。



1年生は「春の野山」
2年生は「夏・秋の野山」
3・4年生は「ジャガイモとサツマイモの違い」
5・6年生は「今と昔の食べ物・遊び・学校の違い」…について

それぞれの学年が生活や総合的な学習の時間の学習の成果を発表しました。

「お餅つき」では、親子がペアになり、つき手は児童、合いの手は保護者、息の合った餅つきの姿も見られました。今ではこうして臼と杵で餅をつく体験も貴重なものとなりました。大切な日本の文化の一つとして続けていきたいものです。



この集会は、「ふるさと家族」とのふれあいを最優先に考えた行事です。地域の方々の参加は少ないだけに貴重な時間でもあります。次年度も1人でも多くのご参加をよろしくお願いいたします。